

第92期事業報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで



エスビー食品株式会社

株主の皆様にはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり、誠にありがとうございます。たく厚く御礼申し上げます。

ここに当社第92期(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の営業の概況と決算のご報告を申し上げます。

当期のわが国経済は、前半は好調な輸出と民間設備投資の増加が続くなかで、企業収益の改善が進みました。後半に入ると、輸出の減速などにより停滞色を強めましたが、総じて緩やかな回復基調を辿りました。

食品業界におきましては、夏場の猛暑によって一部業種は好調でありましたものの、その後、台風や地震などの自然災害が多発したことにより個人消費が影響を受け、さらに野菜など生鮮品の急騰や原油高による原材料価格の上昇も見られ、全体としては依然厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当社は企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、お客様の視点に立った事業活動を推進してまいりました。安全・安心な製品をお届けいたしますため、引き続き品質管理・安全対策の強化に努めますとともに、「お客様の声」を製品の研究開発や改良・改善に活かしてまいりました。また、生産性向上のための諸施策を進めるなどトータルコストの低減にも努めます一方で、販売面におきましては、お客様の視点での売場提案やメニュー提案を行い、きめ細かな営業活動を展開してまいりました。

なお、本年1月にはフレッシュハーブ事業の拡大に対応するための集荷・選別・包装施設である「エスピーハーブセンターつくば」を茨城県に新設し、また2月には高級食料品で著名な仏フォション社の協力を得て、「FAUCHON」ブランドのスパイスとハーブを新発売するなどスパイス&ハーブのリーディングカンパニーとして市場の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当期の売上高は前期比16億79百万円増の1,015億58百万円(前期比101.7%)となりました。

一方、利益面におきましては、依然として消費低迷が続く市場において企業間の販売競争を繰り広げるなかで、売上の確保に向けた積極的な営業活動の実施により販売諸経費が増加いたしました。以前にも増して徹底した原価低減と経費削減に全社を挙げて継続的な努力を積み重ねてまいりました結果、経常利益は前期比93百万円増の30億88百万円(前期比103.1%)となりました。また、減損損失や固定資産除却損などの特別損失がありましたが、当期純利益は前期比2億38百万円増の14億44百万円(前期比119.8%)となりました。

なお、当期中における設備投資は、フレッシュハーブ事業の拡大に対応するための集荷・選別・包装施設の建設と上田、東松山および宮城の3工場における品質の安定向上、合理化・省力化を目的とした生産設備の更新・改良などを中心に総額9億58百万円の投資を行いました。

また、当期中に、増資あるいは社債発行による資金調達は行っておりません。

今後の見通しにつきましては、引き続き企業収益の拡大が見込まれ、緩やかながらも回復基調が続くものと期待されますが、原油価格の高止まりや米国経済の減速懸念など、先行きは不透明な状況であります。

食品業界におきましても、個人消費の本格的な回復に至るまでにはなお時間を要するものと想定され、今しばらくは食品企業を取り巻く環境は厳しいものと予想されます。

当社といたしましては、このような情勢のもと、次の施策に取り組んでまいりたいと考えております。

経営管理面におきましては、執行役員制度を活用し、取締役と執行役員の役割を明確にし、経営全般のスピードアップとコーポレート・ガバナンスの強化を図り、もって経営環境の変化に迅速かつ的確に対応いたしますとともに、内部統制システムの充実・強化にも取り組んでまいります。

製品の安全・安心対策では、引き続き品質管理の徹底を行いますとともに生産履歴に関する情報管理のシステム化を進めてまいります。

企業理念として掲げました「真の顧客満足の追求」とは、お客様にとっての価値を知り、それに応え続けることとあります。そこで、お客様より寄せられます「お客様の声」を企業の財産とし、より耳を傾け、製品やサービスに反映させるなど、あらゆる面でおお客様の視点に立った活動をさらに推進してまいります。

企業の社会的責任に関しましては、当社は皆様の

食生活を担う食品メーカーとして、当社ならではの優れた品質で、かつ安全で安心いただける製品の提供に努め、さらに皆様のご信頼ご支持を得て、社会とともに持続可能な企業であり続けられますよう、法令順守は勿論のこと企業倫理、社会貢献活動などへの取組みに最善の努力をいたしたいと考えております。

特に、自然の恵みによって得られるスパイスとハーブをお客様にお届けする当社といたしましては、地球環境保全を重要課題の一つと認識し、「環境方針」を策定し、環境に配慮した生産体制の整備や製品の開発・改良をはじめ、企業活動全般から生じる環境への負荷の低減に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



代表取締役社長

江戸 龍太郎

●香辛料部門

使いやすい小容量タイプの「スマートスパイス」とともに2月発売の高級タイプの「FAUCHON」スパイスの寄与もあり洋風スパイスが堅調に推移し、また詰め替えやすい形態に変更した袋入り香辛料がご好評をいただき、売上高は前期比52百万円増の140億83百万円となりました。



●即席部門

市場が依然伸び悩むなかで、カレー、シチュー、ハヤシの主力製品である「とろける」ブランドシリーズが引き続きお客様の幅広いご支持を頂戴し順調に推移いたしました。また、新製品の素材の味わいを大切にした「隠れ家レストランの贅沢なシチュー」が好成績を収めましたことにより、売上高は前期比4億73百万円増の314億7百万円となりました。



●香辛調味料部門

「本生 生わさび」などの「本生」シリーズをはじめ、お客様の本物志向によりお応えした「生おろし本わさび」などのチューブ製品が引き続き高い評価をいただき、市場低迷が続くなかで着実にシェアを伸ばしました。また、家庭用中華調味料に加え、新製品の「麻婆豆腐の素」などの中華合わせ調味料の李錦記ブランド製品が売上に大きく貢献いたしましたことにより、売上高は前期比16億50百万円増の229億73百万円となりました。

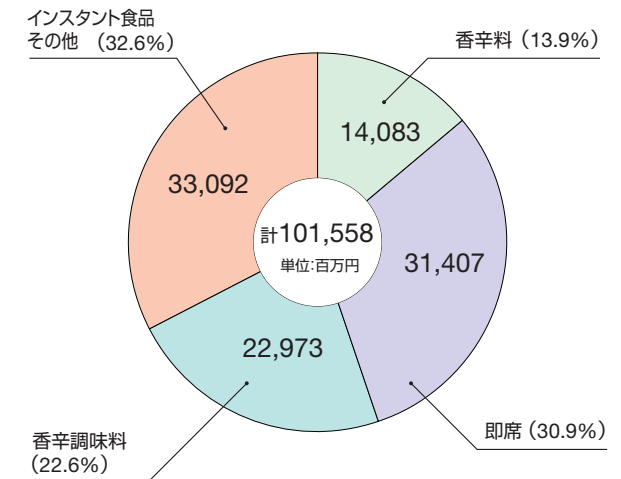


●インスタント食品部門

レトルトカレーでは新製法により牛肉のやわらかさを実現した「とろとろ肉のカレー」などの新製品が売上に貢献いたしました。無菌包装米飯におきましては、具材付きのセット米飯「ピアット」シリーズが、新製品の「予約でいっぱいのレストランのリゾット」の寄与もあり、市場における地位をさらに確かなものにする事ができました。また、パスタソースでも「生風味」シリーズとともに「予約でいっぱいのレストラン」シリーズが順調に推移し、シェアも伸張いたしました。前期中きましてスナック菓子製品の生産・販売を終了したことの影響により、売上高は、前期比4億96百万円減の330億92百万円となりました。



部門別売上構成



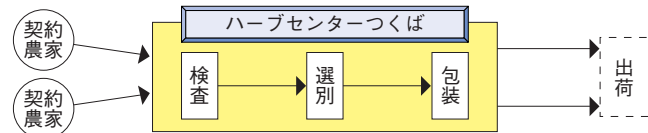
スパイス＆ハーブのリーディングカンパニーとして ～新たな取組み～

『スパイス』と『ハーブ』は、昨今の自然志向や健康志向の高まりのなかで注目を集めており、マスコミで取り上げられる機会も多くなりました。当社では、この2つを核とした事業を展開することで、ますます多様化・グローバル化が進む消費市場への対応を強化していますが、最近の取組み状況についてここで紹介します。

〔エスビーハーブセンターつくば〕

ハーブを生のまま販売するフレッシュハーブは、外国料理の普及などで市場規模が拡大しており、そのなかで、当社は1987年の発売から売上也順調に推移し、トップシェアを維持しています。そして、本年1月に、関東圏におけるフレッシュハーブの集荷から出荷までを一貫して行う作業センター、「エスビーハーブセンターつくば」を茨城県に新設しました。

同センターでは鮮度管理を徹底して品質向上を図ることも目指しており、食品に対する安全・安心への取組みも具現化しています。



〔「FAUCHON」ブランドのスパイス＆ハーブ〕



スパイスをはじめとした高級食料品を原点に120年の歴史を持つ、世界的なこだわりのブランド「FAUCHON」と、『美味求真』の理念の下、“スパイスとハーブはS&B”を貫いて80年の当社が協力して企画した、こだわりの洋風スパイス＆ハーブのシリーズを本年2月に新発売しました。

世界各国からバラエティーに富む良質の原料のみを選定し、FAUCHONのシェフが五感で吟味して製品化した高品質の同シリーズは、多様なニーズにお応えして、瓶・袋・缶の3形態で合計113アイテムの品揃えとなっています。また、今までにない上質感とロイヤリティを訴求したデザインに仕上げ、ラベルも色分けすることで識別性を高めました。

当社は今後もスパイス＆ハーブのリーディングカンパニーとして、お客様のニーズに応える魅力ある製品を提案することで、将来にわたって大きな潜在需要が見込める洋風スパイス市場の拡大を目指します。

ホームページのリニューアル ～携帯サイトも新登場～

当社ホームページについては、会社情報は勿論、食や健康をテーマとしたスパイス＆ハーブの総合情報サイトである「スパイス＆ハーブ総合研究所」や、情報・製品・信頼と3つのお届けを目的とした「お届けサイト」など豊富なコンテンツで皆さまから好評をいただいておりますが、この春、より親しみやすく、分かりやすいホームページにするためのリニューアルをしました。

〔トップページ〕

- 入り口画面の構成を分かりやすく
- 製品の情報を探しやすい
- 問い合わせをしやすい

〔「スパイス＆ハーブ総合研究所」サイト〕

- アクセス数の多いレシピ情報をさらに充実、そして見やすく
- コンテンツタイトルに「ハーブのすすめ」を新しく加え、ハーブのある生活を提案する「とっておきのハーブ生活」サイトへダイレクトにアクセス
- Q&Aコーナーを充実

他にも、株主・投資家の皆さまに向けての「IR情報」では、引き続き必要な情報をタイムリーにお届けできるよう心掛けていきますので、是非ご活用ください。

そして、さらに当社では3つのコンテンツを揃えた携帯サイトもオープンしました。

- スパイス＆ハーブ情報……スパイス＆ハーブの情報を名前や用途から検索
- 簡単レシピ……レシピを調理法、食材、スパイス＆ハーブから検索
- 一問一答クイズ……スパイス＆ハーブの豆知識

また、携帯サイトについては、スパイス＆ハーブに関するリーフレットのQRコードからもアクセスができます。スパイス＆ハーブの情報や料理レシピ満載の当サイトもご利用ください。



QRコード対応携帯電話をお持ちの方はこちらから→



〔URL〕 <http://www.sbfoods.co.jp/>



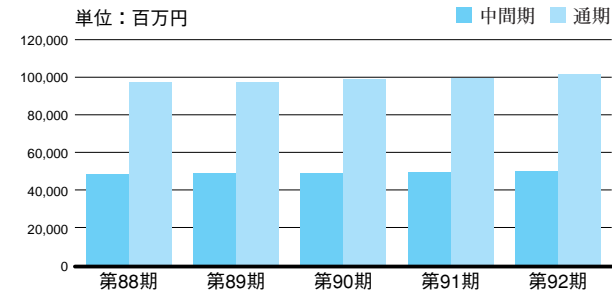
〔URL〕 <http://www.sbsoken.com/>



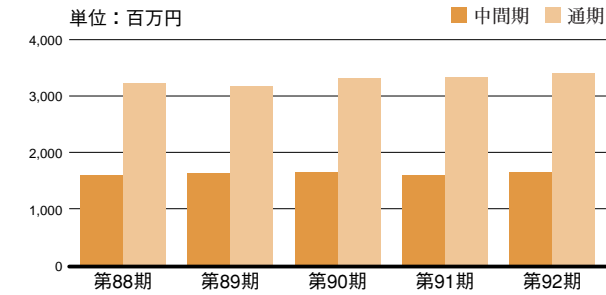
〔URL〕 <http://mo-on.com/sbfoods>

業績の推移（単体）

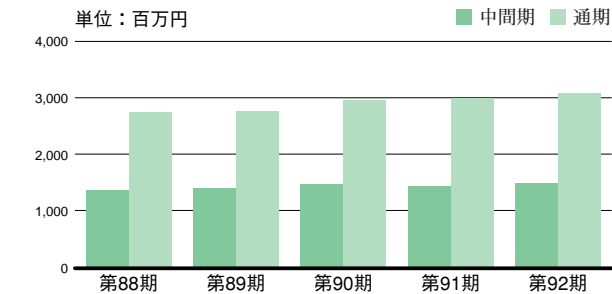
売上高



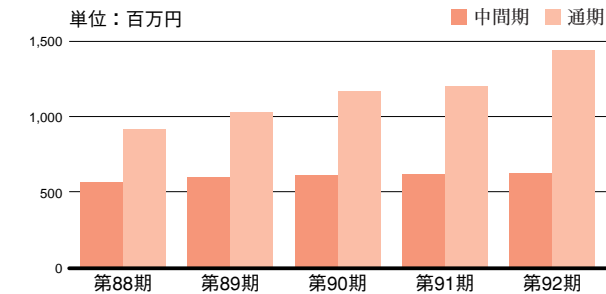
営業利益



経常利益



当期純利益

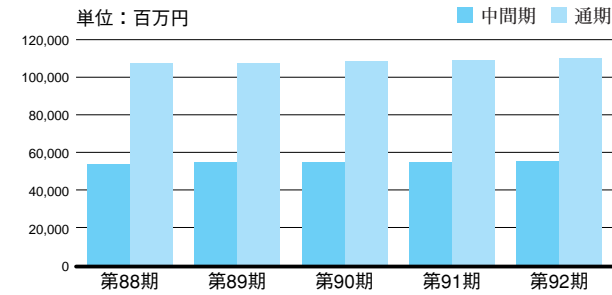


区 分	第88期 (平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで)	第89期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)	第90期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	第91期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第92期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
売上高 (百万円)	97,820	97,815	99,389	99,878	101,558
営業利益 (百万円)	3,237	3,189	3,318	3,341	3,405
経常利益 (百万円)	2,747	2,761	2,954	2,995	3,088
当期純利益 (百万円)	916	1,031	1,173	1,206	1,444
1株当たり当期純利益 (円)	26.28	29.59	31.93	32.78	39.62
純資産 (百万円)	18,664	16,856	16,974	19,622	20,902
総資産 (百万円)	76,908	74,861	72,995	73,056	75,518

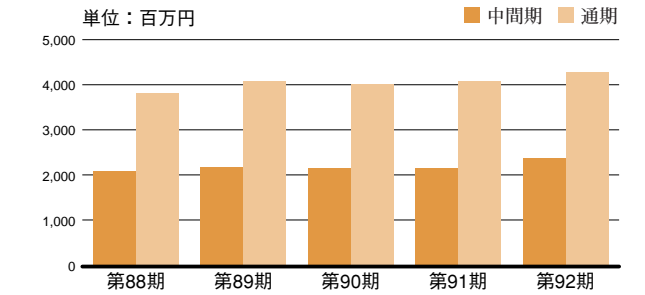
- (注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。なお、第89期より期中平均発行済株式数は、自己株式数を控除して算出してあります。
2. 第90期より、1株当たり当期純利益の算定にあたりましては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。

業績の推移（連結）

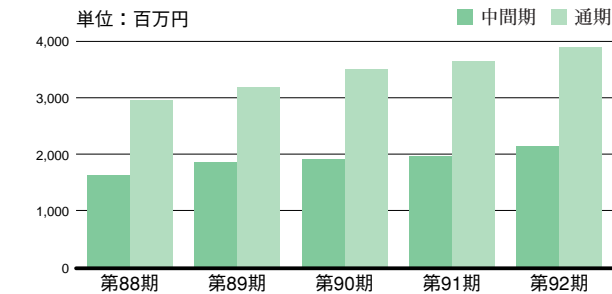
売上高



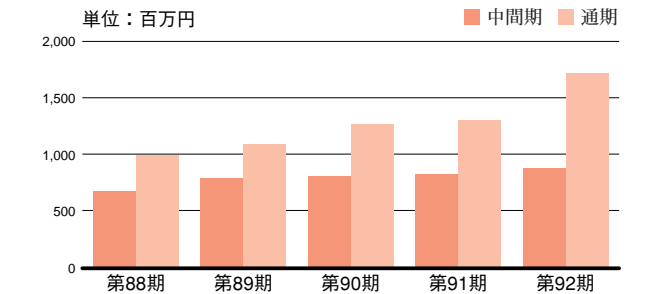
営業利益



経常利益



当期純利益



区 分	第88期 (平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで)	第89期 (平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)	第90期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	第91期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	第92期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
売上高 (百万円)	107,406	107,400	108,792	108,984	110,470
営業利益 (百万円)	3,833	4,099	4,026	4,095	4,292
経常利益 (百万円)	2,955	3,189	3,505	3,658	3,827
当期純利益 (百万円)	995	1,092	1,270	1,307	1,722
1株当たり当期純利益 (円)	28.56	31.33	34.16	34.76	38.97
純資産 (百万円)	19,220	17,420	17,630	20,347	21,695
総資産 (百万円)	94,251	93,233	89,370	87,955	90,016

- (注) 第90期より、1株当たり当期純利益の算定にあたりましては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。

■貸借対照表 (平成17年3月31日現在)

科 目	当 期 末
[資産の部]	
流動資産	45,217
現金及び預金	10,044
受取手形及び売掛金	21,703
有価証券	104
たな卸資産	6,744
繰延税金資産	1,714
短期貸付金	6,085
その他	1,005
貸倒引当金	△2,185
固定資産	44,785
有形固定資産	28,938
建物及び構築物	10,820
機械装置及び運搬具	5,919
工具器具及び備品	1,245
土地	10,744
建設仮勘定	208
無形固定資産	1,218
連結調整勘定	45
その他	1,173
投資その他の資産	14,628
投資有価証券	7,518
長期貸付金	2,688
繰延税金資産	2,330
再評価に係る繰延税金資産	952
その他	1,949
貸倒引当金	△810
繰延資産	13
社債発行費	13
資産合計	90,016

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位: 百万円)

科 目	当 期 末
[負債の部]	
流動負債	42,646
支払手形及び買掛金	10,609
短期借入金	20,009
未払金	7,985
未払法人税等	906
繰延税金負債	13
賞与引当金	1,056
その他の	2,064
固定負債	25,640
社債	10,000
長期借入金	10,506
退職給付引当金	4,971
債務保証損失引当金	124
その他	36
負債合計	68,286
少数株主持分	34
[資本の部]	
資本金	1,744
資本剰余金	5,343
利益剰余金	14,485
土地再評価差額金	△1,369
その他有価証券評価差額金	1,523
為替換算調整勘定	△7
自己株式	△23
資本合計	21,695
負債、少数株主持分及び資本合計	90,016

■損益計算書 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

科 目	当 期
経常	
営業収益	110,470
売上高	110,470
営業費用	106,177
売上原価	59,697
販売費及び一般管理費	46,480
営業利益	4,292
損益	
営業外収益	330
受取利息	73
受取配当金	65
不動産賃貸料	102
その他の	87
営業外費用	794
支払利息	760
その他	34
経常利益	3,827
特別	
特別利益	42
貸倒引当金戻入額	1
損害賠償金	40
その他	0
特別損失	981
固定資産除却損失	173
減損損失	597
投資有価証券評価損	5
出資金評価損	64
貸倒引当金繰入額	25
役員退職金	108
その他	7
税金等調整前当期純利益	2,888
法人税、住民税及び事業税	1,843
法人税等調整額	△680
少数株主利益	3
当期純利益	1,722

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■剰余金計算書 (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

科 目	当 期
(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高	5,343
資本剰余金増加高	0
自己株式処分差益	0
資本剰余金期末残高	5,343
(利益剰余金の部)	
利益剰余金期首残高	14,486
利益剰余金増加高	1,722
当期純利益	1,722
利益剰余金減少高	1,723
配当金	348
役員賞与	291
土地再評価差額金取崩額	1,083
利益剰余金期末残高	14,485

■キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで) (単位: 百万円)

科 目	当 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,795
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,574
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,164
現金及び現金同等物に換算差額	8
現金及び現金同等物の増減額	2,066
現金及び現金同等物の高	8,663
現金及び現金同等物の高	10,729

■会社概要 (平成17年3月31日現在)

- ・商号 エスビー食品株式会社
- ・本社所在地 東京都中央区日本橋兜町18番6号
- ・本社事務所所在地 東京都板橋区宮本町38番8号
- ・設立年月日 昭和15年4月5日(創業大正12年)
- ・資本金 1,744百万円
- ・従業員数 983名(男性813名、女性170名)
- ・主要な事業内容 香辛料グループ(カレー粉、コショウ、ガーリックなど)、即席グループ(ゴールデンカレー、ディナーカレー、とろけるカレー、とろけるシチューなど)、香辛調味料グループ(本生生わさび、ねりからしなど)、インスタント食品グループ・その他(おでんの素、レトルト食品、無菌包装米飯など)の製造販売

■株式の状況 (平成17年3月31日現在)

- ・会社が発行する株式の総数 88,000,000株
- ・発行済株式の総数 34,885,585株
- ・1単元の株式の数 500株
- ・株主数 2,997名
- ・大株主

株主名	持株数	出資比率
峯栄興業株式会社	3,045千株	8.73%
山崎兄弟会	3,000	8.60
株式会社東京三菱銀行	1,720	4.93
農林中央金庫	1,720	4.93
株式会社東京都市民銀行	1,222	3.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,000	2.87
日本生命保険相互会社	904	2.59
セコム損害保険株式会社	881	2.53
大日本印刷株式会社	661	1.90
第一生命保険相互会社	622	1.78

■役員 (平成17年6月29日現在)

代表取締役会長	山崎 勝	監査役(常勤)	中山 俊明
代表取締役社長	江戸 龍太郎	監査役(常勤)	小池 宗夫
取締役副社長	佐藤 幸雄	監査役	國分 勘兵衛
取締役副社長首席執行役員	海野 祐造	監査役	松延 洋平
取締役専務執行役員	岡安 久治		
取締役常務執行役員	荻原 敏明	常務執行役員	黒田 恒夫
取締役常務執行役員	佐藤 哲也	執行役員	矢野 邦宏
取締役常務執行役員	前澤 孝一	執行役員	中野 史夫
取締役執行役員	山崎 明裕	執行役員	山崎 雅也
取締役エスビーグループ代表	山崎 達光		

■主な事業所 (平成17年6月29日現在)

名称	所在地	名称	所在地
本社	東京都	中部BU	愛知県
エスビースパイスセンター (本社事務所)	東京都	北陸BU	石川県
北海道BU	北海道	関西第1BU	大阪府
東北第1BU	岩手県	関西第2BU	大阪府
東北第2BU	宮城県	中四国第1BU	香川県
関東第1BU	埼玉県	中四国第2BU	広島県
関東第2BU	千葉県	九州第1BU	福岡県
関東第3BU	東京都	九州第2BU	福岡県
関東第4BU	東京都	九州第3BU	鹿児島県
関東第5BU	神奈川県	沖縄BU	沖縄県
新潟潟BU	新潟県	上田工場	長野県
長野野BU	長野県	東松山工場	埼玉県
静岡岡BU	静岡県	宮城工場	宮城県

(注)上記表中「BU」はビジネスユニットを省略記載したものです。

スパイスとハーブはS&B

株主メモ

決算期日	3月31日(年1回)
配当金受領株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	6月中
名義書換代理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
(郵便物送付先)	〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号
(お問合せ先)	日本証券代行株式会社 代理人部 (住所変更等用紙のご請求) フリーダイヤル 0120-707-842 (その他のご照会) フリーダイヤル 0120-707-843 (ホームページアドレス) http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html
同 取 次 所	日本証券代行株式会社 各支店
公 告 掲 載 新 聞	東京都において発行する日本経済新聞
株 主 優 待 制 度	有
貸借対照表・損益計算書 掲 載 ア ド レ ス (ホームページアドレス)	http://www.sbfoods.co.jp/

【単元未満株式の買増制度のご案内】

当社では、株主様の便宜をお図りするために、1単元(500株)に満たない株式の数をご所有の株主様は、お手許の単元未満株式と併せて1単元になる数の株式を買増請求できる制度を導入しております。お手続きなどの詳細につきましては上記の名義書換代理人あてにご照会ください。なお、証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引証券会社あてにご照会ください。